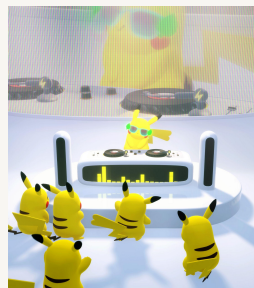


「Pokémon Presents 2025.7.22」を公開しました

ポケモンの最新情報をお届けする情報番組「Pokémon Presents」を、各地域のポケモンYouTubeチャンネルやその他SNSにて放送しました。

番組内では、2025年10月16日発売予定のビデオゲーム最新作『Pokémon LEGENDS Z-A（ゼットエー）』の最新情報のほか、イギリスを代表するアードマン・アニメーションズとタッグを組んだ新作ストップモーションアニメの制作発表、Netflixで独占配信中の「ポケモンコンシェルジュ」の新エピソードが同年9月4日に公開される告知など、さまざまな新情報が公開されました。また、放送前には、直前企画として「みんな集まれ！DJピカチュウライブ」を開催。視聴者のコメント数をDJ会場にリアルタイムで反映させながら、「Pokémon Presents」開始までの1時間をピカチュウと一緒にカウントダウン形式で盛り上げました。

Pokémon Presents



『ポケパーク カントー』2026年春開業のお知らせ

ポケモン初の屋外常設施設『ポケパーク カントー』の開業時期を発表しました。

本施設は、関東の多摩丘陵に位置するよみうりランドの一角に誕生し、600匹を超えるポケモンが息する「森」と「街」で構成されます。たくさんのポケモンたちが暮らす自然豊かな「森」、ポケモンフォレストは、全長約500mで、高低差のある道や草むら、トンネルなど、多彩な地形が広がります。ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの舞台のひとつであるカントー地方に生息するポケモンを中心に、その生態をじっくり観察することができます。

そのほかにも、グリーティングやアトラクションなど、この地ならではの体験をお楽しみいただけます。詳細については、今後の続報をお待ちください。



考えることが楽しくなるひらめきゲーム『ポケモンフレンズ』リリース

2025年7月22日、考えることが楽しくなる、Nintendo SwitchとiOS／Android向けの新作ゲーム『ポケモンフレンズ』の配信を開始しました。

『ポケモンフレンズ』は、ひらめき問題がたくさん遊べるゲームです。ポケモンの世界観や特徴を生かした、楽しくて少しだけ頭を使う、さまざまなひらめき問題を1200以上収録しています。問題を解くと、ゲーム内でポケモンのぬいぐるみももらえ、自分の部屋に飾ってコレクションできるなど、毎日遊びたくなるような楽しみも仕掛けられています。また、本ゲームには、ワンダーファイ株式会社が制作した、思考力が育つ知育アプリ「シンクシンク」を基にした問題が多数収録されており、幅広い難易度のひらめき問題をお楽しみいただけます。



『Pokémon Sleep』睡眠に関する調査結果・厚生労働省との取り組み

睡眠ゲームアプリ『Pokémon Sleep』は2025年7月20日で2周年を迎えました。全世界累計でダウンロード数は2,800万を超え、10億回以上の睡眠が計測されています。(同年7月時点)このデータを活用し、筑波大学と共同でこれまで大規模調査を行ってきましたが、3度目となるこの度、睡眠と労働生産性の関係が明らかになりました。例えば、ソーシャルジェットラグ*があるユーザー群は、健康的な睡眠を取るグループと比較すると、労働生産性が著しく低下し、経済損失が生じることなどが示唆されています。

2025年6月26日には、厚生労働省が推進する「スマート・ライフ・プロジェクト」の睡眠分野との連携を開始し、その取り組みの一環としてナイトキャップをかぶったピカチュウといねむりポケモンのカビゴンが「睡眠応援大使」に就任しました。

日本は世界的に見て睡眠時間が短い国の一つ。『Pokémon Sleep』は厚生労働省と共に、エンターテインメントの力を通し睡眠の大切さを啓蒙すべく活動を続けていきます。

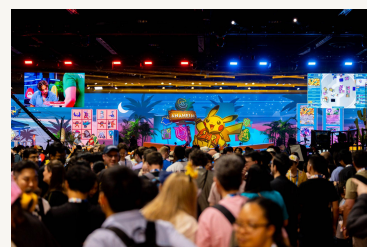
*仕事・学校などで制約がある平日と、時間に比較的自由な休日の入眠・起床時刻のずれのこと



ポケモンの世界大会、今年はアナハイムで開催

2025年8月15日から17日（現地時間）までの期間、ポケモンバトルの世界一を決める「ポケモンワールドチャンピオンシップス2025」が、アメリカ・アナハイムで開催されました。今回で20回目を迎えた本大会には、50近くの国と地域から2400人を超える選手が参加。観客を含めた総来場者数は、2万5000人以上に達しています。

次回2026年度はアメリカ・サンフランシスコで開催予定で、ビデオゲーム部門には2026年配信予定の『Pokémon Champions』が新たに登場し、『PokémonXP』というイベント同時開催も予定されるなど、さらなる盛り上がりが期待されます。





ビデオゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』では、シリーズ初のオープンワールドを冒険することができます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8900万本以上／対応言語数
(『ポケットモンスター』シリーズ) 9言語 (2025年3月末時点)

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベスト
セールス賞」「優秀賞」受賞 (2023年9月)



カードゲーム

ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。

「ポケモンカードゲーム スカーレット＆バイオレットシリーズ」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

累計製造枚数 750億枚以上／販売言語数(実績) 16言語／販売地域数(実績)
90以上の国と地域 (2025年3月末時点)



映像

テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つパルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他

Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」 〈制作：ドワーフスタジオ(株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND) 配信先：Netflix〉

「ポケモンたちとの甘い冬」など 〈制作：日食記(中国の映像クリエイターチーム) 配信先：YouTube〉

「ただいま(良辰有夢)」 〈制作：寒木春華(中国のアニメスタジオ) 配信先：bilibili・YouTube〉

テレビアニメ放送地域数(実績) 190以上の国と地域 (2025年3月末時点)

「Pokémon Kids TV」YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンド
クリエイター アワード」受賞 (2023年10月)



アプリゲーム など

『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。

開発・提供：Niantic, Inc. ポケモン

『ポケモンマスタース EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。

開発・提供：ディー・エヌ・エー ポケモン

『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。

開発・販売：ポケモン

『ようこそ! ポケモンカフェ～まぜまぜパズル～』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。

開発：ジニアス・ソノリティ 発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』 「Google Play ベスト オブ 2024」
マルチデバイス部門 ゲームカテゴリ (日本) 大賞受賞 (2024年11月)

『ポケモンユナイト』

5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています。

開発：Tencent 発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』

スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。

開発：SELECT BUTTON 販売：ポケモン

『Pokémon Trading Card Game Pocket』

ポケモンカードを「集める」ことをメインテーマにしたアプリ。毎日、無料でカードバックを開封できます。デジタルならではのカードの表現や演出も取り入れられており、スキマ時間に、誰でも気軽に楽しむことができます。

開発：クリーチャーズ ディー・エヌ・エー 販売：ポケモン

『ポケモンフレンズ』

頭をほぐす「ひらめき」問題をポケモンの世界観で楽しめる、Nintendo Switchとスマートフォン向けのゲーム。知育アプリ「シンクシンク」を基にした問題を含め、さまざまな難易度の1200問以上が収録されており、子どもから大人まで「考えること」を楽しみながら遊ぶことができます。 スマートフォン版／開発・販売：ポケモン Nintendo Switch版／販売：任天堂 発売：ポケモン

『ポケモンフレンズ』

ポケモンのこども向けアーケードゲーム。ビデオゲームよりもシンプルなルール設定や、ボタンを叩くなどのわかりやすい操作性、ポケモンが描かれた配出物が手に入るなど、未就学児でも、ポケモンの世界観を楽しむことができます。2007年にスタートし、第5弾となる今作からは新たにタッチパネルを導入。2024年7月より、ポケモンセンターや商業施設などで稼働開始

プレイ料金：100円+フレンズピック払い出し1枚100円／最大1プレイ600円(すべて税込) 開発：マーベラス 運営：タカラトミーアーツ



オフィシャルショップ

出店状況：日本国内 22店舗／日本国外 2店舗（台湾・シンガポール）
商品種数：約2700種類（「ポケモンセンター」）（2025年3月末時点）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンストア」を展開中。ポケモンの世界観の中でお買い物が楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。



ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

主なお取引先

赤城乳業、イオンモール、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、ダスキン（ミスタードーナツ）、日本生命、日本マクドナルド、バンダイナムコホールディングス、P & G、ファーストリテイリング、ファミリーマート、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

直近の注目事例：ユニクロのグラフィックTシャツとのコラボレーション！「ポケモンUT」

ユニクロが展開するグラフィックTシャツブランド「UT」に、「ポケモンカードゲーム」とゲームアプリ『Pokémon Trading Card Game Pocket』との初のコラボレーションコレクションが登場しました。

ポケモンカードのイラストや、これまでに登場したピカチュウのイラストが23枚も集合したコラージュアートなどがTシャツやスウェットにデザインされ、大人も子どもも楽しめます。あわせて、店頭で配布しているUT Magazine特別号では、ポケモンカードのイラストレーターがカードに込めたアートへのこだわりを読めるほか、開くとポケモンカードゲームを遊ぶ際のプレイマットとしても使用できます。

販売期間：2025年8月11日～



その他の取り組み

ピカチュージェット運行中の航空会社
ANA / ガルーダインドネシア / スカイマーク / スカウト / チャイナエアライン /
ディーウェイ（五十音順）

「ポケモンローカルActs」連携協定締結先の道県
北海道 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 福井県 / 三重県 / 鳥取県 / 香川県 / 高知県 /
長崎県 / 宮崎県 / 沖縄県

そらとぶピカチュウプロジェクト

「そらとぶピカチュウプロジェクト」は、人と人、人と地域をつなぐことで、旅の楽しみをお届けします。その象徴として、「ピカチュージェット」が就航、2025年8月末現在6つの航空会社で9機が運航しています。

ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（2025年8月末現在12道県と協定を締結）

一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地のこどもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユー財団を設立しました。活動領域も広がり、こどもの災害対策支援・こども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『ポケモンユナイト』・『Pokémon GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが出場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、長らく欧米で開催されてきましたが、18回目となる2023年に初めて日本で開催されました。2025年にはアナハイムで開催され、50近くの国と地域からプレイヤーが出場。会場には、選手と観客合わせて2万5000人以上が来場しました。

2025年にアナハイムで開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子



POKÉMON



ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター 赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続けました。

捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。